

防災シンポジウム

平成 28 年 9 月 3 日

「大震災から読み解く安全安心な環境」

主 催：公益財団法人東京都慰霊協会、公益財団法人都市防災美化協会

日 時：平成 28 年 9 月 3 日 13 時 00 分～16 時 20 分

首都圏直下型地震に備え、関東大震災の経験を基に防災まちづくりを先行的に取り組んできた東京の事例及び阪神・淡路大震災を経験し、その後の災害に強いまちづくりに取り組んできた阪神の事例を調査しました。そして既往文献の分析やヒアリングを通じて、地域レベルでの住民防災活動に緑地を活かした防災まちづくりのあり方についてまとめました。本シンポジウムでは、これを基に、地域レベルでの住民による取り組みを対象として「地域住民の防災の取組みに緑地や緑化をどう活かしていくか」と題したパネルディスカッションを開催しました。

最初に（公財）東京都慰霊協会理事長（公財）都市防災美化協会理事長 中島宏より主催者挨拶がありました。

続いて、調査・研究の概要を株式会社ハッズ大阪事務所副所長 松原秀也様より説明して頂きました。

続いて、コーディネーターの兵庫県立大学/兵庫県立淡路景観園芸学校名誉教授 斉藤庸平先生を中心にパネルディスカッションが行われました。

パネラー・・・ 明治大学大学院特任教授 中林一樹
（公財）東京都慰霊協会常務理事 住吉泰男
（株）ハッズ大阪事務所副所長 松原秀也
前（公財）都市防災美化協会常務理事 岩澤一正

最後に、意見交換、コーディネーターによるまとめがあり終了しました。



